



今、できることを

今年の年長児のお泊り保育は、コロナウイルスの感染拡大により、毎年行われていた北広島町にある順源会山の家から、急遽、似島臨海少年自然の家へと場所が変更になりました。寸前に、南区の市立学校の生徒がコロナウイルスに感染したとの情報で一気に緊張感が高まりましたが、生徒以外の濃厚接触者は検査の結果全員陰性とのことで、悩みながらではありましたが、7月29日(水)～30日(木)の一泊二日を、マスクや消毒などの感染予防と熱中症対策等の配慮をしながら、年長児29名はお泊り保育に行ってきました。

突然、激しい雨が降ったり、雷が鳴ったりということもありましたが、応援に来てくれていたグループ園の職員が、スマホで雨情報を細やかに伝えてくれたので、子どもたちは雨の合間をくぐり抜け、やりたかったことは全部! 経験することができました。展望台でのなが～い滑り台やターザンロープでは、どきどきしながらも「やってみよう!」と勇気を振り絞っている様子や、1回やるとコツをつかんで、繰り返すたびに子どもなりに工夫して上手になっていく姿に、見ている私の方がわくわくしました。また、お泊り保育に行く前からmy段ボールを準備して、楽しみにしていた芝滑りは、雨が降っていたこともあり、なかなかうまく滑ることはできませんでしたが、それでも、こっちの芝のほうで滑れるとか、身体を斜めにした方が滑れる…などと、どろんこになりながら何度も挑戦していました。せみやクワガタ虫、バッタ、小さなカニも発見したりと、驚きと発見のわくわくは常に最高潮!! そこからさらに、キャンプファイヤー、花火、大きなお風呂にみんなが入って、興奮冷めやらないままに一日が終わり、あつという間に就寝して朝までぐっすりでした。

調子に乗りすぎて話を聞いてない子どももいましたが、ほとんどの子どもが身の回りのことも、自分でできていました。食事の場面では、大人と同じ椅子とテーブルの高さや、箸の長さ

悪戦苦闘する場面もありましたが、苦手な野菜も“食べた”という子どもたちがたくさんいて、いつもは保護者の方に頼っている場面でも、仲間がいるから、小さなチャレンジがいっぱいできて、自信满满になった子どもたちです。細かな心の動きが、可愛くて愛しくてたまりませんでした。

引率した職員からも、帽子や水筒を忘れていた友だちがいたら届けてあげたり、遅れがちの子がいたら、友だちの歩く様子に合わせて励ましている姿に感動したと話してくれました。相手を思いやる力やコミュニケーション力が育っていますね。

コロナウイルスの感染拡大の中でも、年長児の子どもたちの今だから経験してほしいことが無事に楽しくできたことに安堵しています。保護者の方々には、不安の中でも子どもたちの背中を押して応援して頂いたこと、また、準備からお迎えまでのご協力をありがとうございました。お泊り保育の詳しい様子は、“**ぽかぽかドキュメンテーション特別号**”で幼稚園主任からお知らせいたします。楽しみにしてください。

長かった梅雨がやっと明けました。豪雨災害が毎年のように起こり、今年も携帯の災害お知らせメールの音が響くとドキッとしました。キッズノートでの配信を始めて間もないのですが、緊急時にも保護者の方との連絡ツールとして大変ありがたいものだと感じています。これからは台風への警戒もあります。なかなか携帯電話を見ることができない職場もあると思いますが、災害が迫っているときは、キッズノートでの配信を気にかけていただくようお願いいたします。

コロナウイルスの感染が急速に拡大していることもあり、様々な場面で窮屈な日々が続きますが、引き続き、園に出入りされる保護者の方と子どもたちの健康観察をお願いします。

園長

ぽかぽかドキュメンテーション 8月

～ 「楽しい保育」 楽しく学ぶ 職員編 ～

自分の興味のあること、今年度深めたいことを課題として学びに繋げていきたいという思いから、“楽しい部活動のように”を目指して職員園内研修をしています。それは、屋上・園庭部(環境)や食育部など、6つの部で構成され、自分の興味のある部に所属し、勉強会を計画したり、ワークショップを企画したりと、座学だけでなく、様々な取り組みを行っています。その中から今回は、保育実践部と園庭・屋上部の活動をご紹介します。

保育実践部より

【固い頭をやわらかく】というテーマで、“夏”という言葉から広がる連想ゲームをしています。



“夏”といえば、〇〇! あっ! それいいね。



園庭・屋上部より

屋上で育てたシロツメクサや、朝顔などを採取して、“植物から色水・染物”というテーマでワークショップをしています。



職員同士での語り合いの中で、わくわくと心が動いた瞬間を感じたり、好きなことなら、積極的に情報を集めたり、どうすればいいか方法を考えたり、仲間と意見を伝え合い、関係性を築きながらまた取り組むというアクティブラーニングを体験しています。この経験は、保育のスキルアップにとどまらず、子どもたちの気持ちに寄り添ったり、学びの芽をくみとる感性を磨く力になり、子どもたちにも先生たちにも楽しい保育につながると考えています。そして、人間関係の深まりは、子どもたちの育ちにより温かさや安心感をもたらしてくれることと考えています。「あそびは学び」楽しいことで様々な力が繋がります。

乳児園主任 川崎かおり